

「2013年10月23日 森ゆうこと語る会 in 福岡」動画書きおこし

.....

質問者

森さんが志岐さんを訴えた件を八木さんから先々週ちょっと聞いた。

森さんがツイッター上で、今まで功績があった志岐さんを罵倒したのが間違いではないか？訴えたのは森さんの暴走ではないかという人がいた。

真実は話せないかもしれないが、流れを教えてください。

森

私からは積極的に話すことではないが、質問があったのでお答えします。

私の方から罵倒、攻撃した事実はありません。

今年の初めごろから、志岐武彦さんの方から、ツイッター、ブログで、森ゆうこはけしからん、自分の言っている検察審査会架空議決説、即ち審査員は一人もいなかった、起訴議決はそもそも架空議決、それは説なんですけど、私はそれ自体否定していない。

検察審査会はゼロ、審査員は一人もおらず、振り込まれたものは裏金に使われ、審査員の費用は架空の口座に振り込まれている、志岐さんの説を私に同調せよ、そうだといい、同じように架空だったと言い続けなさいと言われても私にはできませんから。

私ができることは、もちろんこうじゃないかと疑問を呈すること、事実あったこと調査した事、これについてはおかしいと追及できるが。

仮説に基づいて、架空だった、審査員は一人もいない、支払われた報酬は裏金だったと私が言えるわけではない。

それに対し、私が裏取引をした、小沢さんの無罪を勝ち取るために司法取引をした、

そして裁判所を助けるため八木さんをつるんで、田代検事の捏造報告書をロシアのサイトを通じてインターネット上に流出させた、実は私はその首謀者で、私がミスターXに指示して、命令して流出させ、八木さんをつるんでその説を広めたというのが志岐さんの説で、ブログに主張し続けたことです。

これはあくまでも刑事事件でしょ。終わっていない刑事事件ですが、その首謀者だと、ブログで名指しされ、私が注意したのにもかかわらず止めない。

それはさすがに、ちょっとしたいやがらせとか、そういう範囲を超えていますから、全く事実無根で、それについて反論し、抗議し、止めて下さい。 やむなくブログでやったわけですから。

(質問者：志岐さんがおかしいという話は色々なところがあって、それはいいんですが)

それに対し、ロシアのサイトに、検察側が持っている、あるいは裁判資料ですから、その関係者が持っているかもしれませんが、それを私が不法に取得して、人を使ってロシアのサイトに流出させた張本人である、そんな荒唐無稽な話を削除してほしい、全く事実無根のそういうことを、私を刑事事件の首謀者と名指しし、私が、有りえないですけどね、司法取引したと毎日ブログやツイッターで拡散するのは止めてほしいと言ったんですけど、でもやめないわけです。相変わらず、ずっと続けていて、だんだん森ゆうこがM議員、M前議員と急にイニシャルになって、イニシャルにするんだったら最初からイニシャルにしておけばよって感じなんです。

あまりに酷いので、止めないので提訴することにいたしました。

こんなことしたくないですが、しかしインターネット上で誹謗中傷を甘くみちやだめなんです。これだけ言っているにもかかわらず、削除もしないし、止めもしないし、これが事実じゃなかったという訂正もしない。それを見過ごしたら、じゃあ、私がそれを認めたということになりますし、まあ、甘くみちやいけない、そういうことです。

だいたい皆さん、わたしがひよっとしたらやったんじゃないかなと思っている人がいるんじゃないかな。

(質問者：本来、政策原発とかオリンピックのこととかお聞きしたかったのですが、そういう疑問点で、最初にそう申し上げたのです)

まあ、そういう意味で、もうちょっと冷静になられたら、おかしいことが自分でもお分かりになるんじゃないかと思うんですけども。

さっきのネットの話は、そういうことも、意識しながら話しました。なんていうかな、みんな狭い世界に入っちゃってお互いにお互いを批判したり、そしてなんか、どんどん陰謀論にはまったりちょっと冷静さを欠いている。

(質問者口をはさむ)

そういうことです。ご本人とのあれもあるので、やむなくですね、私の方からはあまり言いたくない。まあご質問があったのでお答えしました。

(質問者口をはさむ)

ご心配頂いてすみません。でもこれは、普段の生活の中でも、あることだと思うんですね。いろいろ誤解があって、陰口があって、まったくそんなことも身に覚えがないのに、あの人はあんなこと言ってたわよと、普段の人間関係の中にもあることですから。

.....

ただ、私に対するいろんなことがありますから、それはしょうがないですけども。

ただ、私は黙っていない。あまりにも違うことを勝手に作られて攻撃されたときには其れは違うと、違うと言ってもやめない人には止めてもらうように、きちんとやりますよ。そういう風にしないといけない。

この間の経験からそういう風にやってきた。

個人的な恨みはまったくありませんが。ちょっと格好よくいいましたけれど、私は人間ですからね。あまりに理不尽な攻撃はやっぱり許さない。それも飲み込んで、そこも耐えてやらなきゃいけないんだという部分ももちろんあります。それは普段そう思っています。

我々の仕事はそういうことが当たり前です。ただ放置すると誤解が広がってしまう。

ただね、これが落選したことなんだなと思います。

...

くだらないことでご心配をかけてもう申し訳ない。